

都市部の若者との相互交流と地域文化の担い手づくりのためのアートを活用した地域の賑わい創出事業

【事業概要】都市部在住の若者を関係人口として、長期滞在（2週間～1ヶ月）で受け入れ、地域団体と協力して高齢者へのインタビューやフィールドワークを実施。その土地に暮らす人の記憶に残る、島の風景や物語をもとにアーティストと影絵を制作し、直島諸島に育まれてきた文化・伝統を次代へと継承します。

<直島地域における事業内容・イメージ>

アーティストと関係人口と住民の三者が作品制作を通して、人と人、人と土地のつながりを新たに捉え直し、多様な形で地域に関わる人材が集まる土壌をつくる。

地域資源が地域独自の楽しみとして新たな人を巻き込む土壌になる。

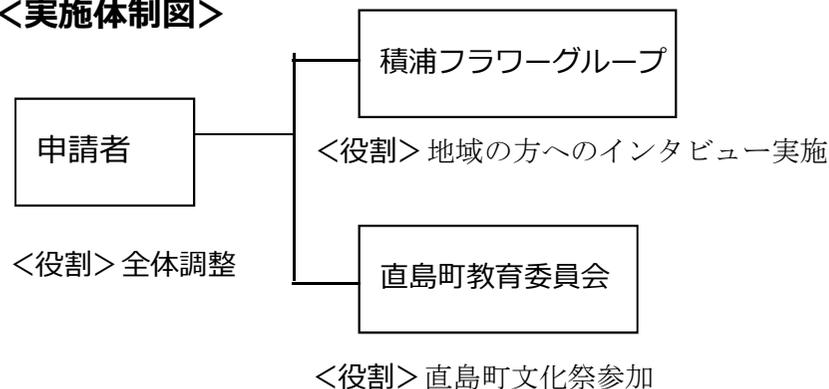
調査や作品制作を通じて島の地域資源を顕在化する。

地域資源を関係人口が新たな視点から再価値化。

【ターゲット層】対象：18歳以上35歳未満（5名程度）
 ・将来的に地方への移住を検討している潜在層
 ・地域のリアリティに触れられる場や地域コミュニティとの交流を求めている人

【事業内での役割】
 ・地域のお年寄りにインタビューを行い、島の文化や伝統を新たに掘り起こす。
 ・アーティストと協働し、島を題材にした影絵物語を制作・上演する。
 ・地域資源から体験プログラム（ツアー、食、ワークショップ等）をつくる。

<実施体制図>



<事業スケジュール>

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
	公募		オンライン顔合わせ		直島町滞在/制作 ・アーティスト ・関係人口		作品発表		
		アーティスト打ち合わせ		中間報告			成果報告		

<事業終了後の展望>

- ・毎年新たな関係人口を巻き込みながら、直島を題材とした影絵制作を3年間継続して行い、2026年には集大成となる作品を制作・発表する。
- ・作品制作を通じて顕在化した地域資源から、関係人口が体験コンテンツを制作し、新たな人を巻き込む土壌を作る。
- ・事業に参加した島内外の多様な人材や地域住民が引き続き関わり続けるためのコミュニティを形成する。
- ・直島町まちづくり観光課と連携し、プログラム参加後、移住や起業を考える人が具体的な一歩を踏み出せるよう支援する。

<事業成果 目標（単年度）>

<成果指標>

【定量】

- ・都市部の若者の参加（5名以上）、地域の連携団体（2団体以上）
- ・地域住民向けのワークショップ実施（1回以上）、地域の団体と連携したイベントの実施（1回以上）

【定性】作品制作を通じて、地域に愛着を持つ若者が増える。

居住地、肩書や役割にしばられない、直島に愛着を持つ人のゆるやかなコミュニティが形成される

<成果の検証方法> 参加者（関係人口/地域住民）へのアンケート実施/イベント参加者数の記録